

特別支援学校

教科【体育】

単元【球技：野球をしよう（ホームランゲーム）】

主体的・対話的で深い学びのポイント

ICT機器を効果的に活用することで、様々な特性に応じたスポーツの楽しさを理解し、主体的・対話的で深い学びに繋げる。

ICT活用のポイント

個々の特性に併せたICT機器の活用を通し、「する・みる・支える・知る」ことなど、スポーツへの多様な関わり方について学ぶことができる。

使用するICT機器

iPad、タブレットタッチャー、スイッチ

使用するアプリ・クラウドサービス等

iMovie

クラウドの活用

教材の配布・回収等
資料等の共有
生徒の学習状況の把握
その他（ ）

本時のねらい

- ・ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しむ。
- ・ボールを使った基本的な運動やゲームになれ、その楽しさや感じたことを表現する。
- ・簡単なきまりや合図を守り、友達と協力して安全に楽しく運動をしようとする。

主な学習活動
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

- 本時の目標を確認する

一斉



大型提示装置に、本時のねらいを確認する。

ICT機器

- ・体操の映像や本時の活動の内容を提示し、ICTを効果的に活用し、生徒の理解を深める。

指針2 指針6



展開

- ホームランゲームの実施

一斉

個別



活動のルールや自分の役割を理解する。

- ・ICT機器と個の特性に応じた補助具を活用し、それぞれの特性に応じた活動を行う。

打ちやすい（転がしやすい）ように、ボールをセットする。



ICTを効果的に活用し、個の特性に応じたスポーツの関わり方を理解する。

【役割】

- ・アナウンサーは、iPadを使用し、バッテリーコールや登場曲を放送する。
- ※タブレットの直接操作
タブレットタッチャー等の活用
- ・得点係・アウトカウント係は、ゲーム運営を通し、主体的に参画にする。

ICT機器



指針4

指針5

〈留意点〉

・主体的に機器の操作を行えるようなポジショニング（意図的に伸ばして届く場所）に配慮

【知】【思】

- ・ボールを放すことができる。（落とす）
- ・バットを握ってボールを打つことができる。

ここで評価

【知】【態】

- ・係活動を通してルールを理解できる。
- ・係活動を通して仲間と協力して運動することができる。

終末

- 本時の内容の振り返り



本時を振り返り、特性に応じたスポーツの楽しみ方を確認する。

